

# 名古屋サッカー協会 4 種競技規約

当規約は、各種大会の基本となる規約とする。

但し、各大会・試合会場等によりやむを得ず変更しなければならない場合は、協会にて大会ごとにルールを設定する場合がある。

＜参加資格＞ 日本サッカー協会第4種に登録されたチーム及び選手とする。

## 細 則

①ルールは(財)日本サッカー協会競技規則による。

試合時間は各大会の要項に従う。

②リーグ戦の場合は、延長は行わず、勝ち点(勝ち 3 / 分け 1)、得失点差、総得点、直接対戦成績、抽選の順で順位を決定する。

トーナメントでの同点の場合は、次の試合に進むための決定戦として PK 合戦を行う。

決勝戦の場合は、大会により延長戦も行う場合がある。

③本大会での選手交代は、各大会要項に従う。

④登録メンバー受付は、各大会の締め切り日までとする。

但し、メンバーの変更は抽選日まで認める。

複数参加するチームは、各チームに異なる監督を記入すること。

⑤各公式戦の初戦時に選手証のチェックを行う。(年度初めの大会時は選手証発行が間に合わない場合のみ免除)

選手証を提示できなかった場合は、必ず後日大会役員に提示しなければならない。

但し、何らかの理由により選手証発行が遅れた場合は、WEB 申請時の控えをプリントし提示する。

守れないチームは規律委員会にかける。

メンバー表は、試合開始 20 分前までに用意し、本部に提出する。(帯同審判のチェックも同時に行う)

試合開始 5 分前に、審判、チームはピッチ前に集合する。選手は事前にツメを短くしておく。

ベンチには、監督 1 名・コーチ 2 名・控え選手のみ入れる。その他は認めない。

⑥ユニフォームは、異色のものを 2 着以上用意し、アンダーシャツ・アンダーパンツを着用する場合はチーム統一で

同色とする。(GK は GK で統一) 番号は選手各番号を設定する。**(交代 GK は上着のみ変え番号はフィールドと重ならない。フィールドに出る選手はフィールド用ユニフォームを着用) 県規定に準じゆる。**

⑦コートに向かって左側のベンチに対戦表左側(上)のチームが入る。

⑧ピッチ内練習が許される場合は、試合前にベンチ側ハーフコートを使用する。

⑨各大会で、退場処分、警告累積 2 回となった選手は、同じ大会の次の 1 試合には出場することができない。

⑩参加選手は、スポーツ障害保険に加入済みで健康であること。

⑪試合中に発生した負傷は、大会本部で応急処置は行うが、その後は各チームまたは保護者の責任とする。

⑫試合会場施設の使用については、十分に注意し、駐車券の提示、ごみの持ち帰り等十分な配慮を行う。

⑬大会参加チームは大会運営に協力しなければならない。非協力チームは、次回の参加を見合わせる場合がある。

⑭試合会場のルールを遵守すること。

守れない場合は、次回会場提供ができないばかりか、そこで練習しているチームが使用できないなど多大なる迷惑になる場合があるため厳重なる処分を課す場合がある。

⑮会場設営

会場担当チームの指示の下、基本的に2試合目のチームが準備、最終試合のチームがグラウンド整備、後片付けに協力する。

⑯審判について

1 試合目の審判はトーナメントの試合時は3試合目のチームが行う。

(その後の試合8人制は、勝ちチームが補助審、負けチームが主審)

リーグ戦については、大会組み合わせと審判表に則って実施する。

必ず上下審判服を着用し審判資格を持った者が行うこと、当日審判証を必ず持参する。

帯同審判が準備できないチームは参加を認めない。

1 試合目の審判に遅れるまたは、来なかった場合は、試合の棄権等の処分をする場合あり

(皆さんの協力により成り立つ大会ですので協力お願いいたします)

⑰保護者の応援について

基本的にベンチサイドでの応援は避け、反対エリアで行う。できたら応援エリアを設置するのが望ましい。

過度な指示等の応援、やじなどは避け、コーチに任せる。

⑱各会場への保護者からの問い合わせはさせない。

⑲雷等による試合中止・中断について

雷鳴が轟き始めたら試合の中断または中止とする。

その場合の勝敗およびその後の試合日程等については協会で決定する。

⑳エントリーについて

リーグ戦エントリーは、1登録チーム複数可能とする。

カップ戦エントリーは、1登録チーム複数可能とする。